



幼稚園から高校まで15年間の学習費

「すべて公立」でも
総額500万円も！

センター試験が終わり、大学入試も本格化してきます。当然ながら受験生を持つ家庭ではその合否が気になります。小さな子供を持つ親にとっては将来の教育資金も心配になります。文部科学省が2年ごとに調査している「平成24年度子どもの学習費調査」(平成26年1月)によると、

幼稚園3歳から高校3年までの15年間について、各学年ごとの「学習費総額」をケース別に単純合計すると、ケース1の「すべて公立」の場合は約500万円となっています。また、ケース2の「幼稚園だけ私立」の場合は約580万円、ケース3の「高等学校だけ私立の場合」は約673万円、ケース4の「幼稚園および

高校が私立」の場合は約753万円、ケース5の「小学校だけ公立」の場合は約1,007万円、ケース6の「すべて私立の場合」は約1,677万円となっています。なお、すべて公立とすべて私立の差は約3.36倍となっています。

さらに、子供の夢の実現のためにも、早めの準備が必要です。

幼稚園3歳から高等学校第3学年までの15年間の学習費総額

文部科学省「平成24年度子どもの学習費調査」

区分		学習費総額				合計
		幼稚園	小学校	中学校	高校	
ケース1	すべて公立					4,999,271円 (公→公→公→公)
ケース2	幼稚園だけ私立	659,363円	1,829,736円	1,351,309円	1,158,863円	5,801,472円 (私→公→公→公)
ケース3	高校だけ私立	(公立)	(公立)	(公立)	(公立)	6,726,606円 (公→公→公→私)
ケース4	幼稚園および高校が私立	1,461,564円	8,538,499円	3,887,526円	2,886,198円	7,528,807円 (私→公→公→私)
ケース5	小学校だけ公立	(私立)	(私立)	(私立)	(私立)	10,065,024円 (私→公→私→私)
ケース6	すべて私立					16,773,787円 (私→私→私→私)

(注)金額は、各学年ごとの平成24年度の平均額の単純合計。

この調査は、「保護者調査」と「学校調査」の2種類で構成されており、それぞれの調査費用の範囲は次のとおり。

(1)保護者調査

① 学校教育費：保護者が、子供に学校教育を受けさせるために支出した経費（通学費を含む）。ただし、学校調査で調査される経費を除く。

例)学用品費、体育用品費、楽器等購入費、実験実習材料費、クラブ活動費、通学費など

② 学校外活動費：保護者が、子供の学校外活動のために支出した経費。

③ 世帯の年間収入：世帯全体の1年間収入（税込み）。

(2)学校調査

① 学校教育費：保護者が、子供の教育のために、学校及び学校教育関係団体に納付あるいは寄附した経費。

例)授業料、保育料、入学金、修学旅行費など

② 学校給食費：幼稚園・小学校・中学校において、保護者が給食費として学校に納付した経費。